

# 日立ラジオカセット レコーダー TRK-S50形

# HITACHI

— 品質を大切に作る(技術の日立) —

ご使用前にこの  
「取扱説明書」をよく  
お読みください。

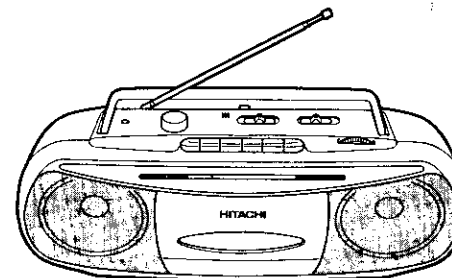


## 取扱説明書

このたびは、日立ラジオカセットレコーダーをお求めいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
なお、お読みになった後はいつでも見られるところに保証書とともに大切に保管してください。

### 目次

	ページ
安全上のご注意 (必ずお読みください) .....	2
一般的なご注意 .....	7
• 使用上のご注意	
• お手入れについて	
• ヘッドの清掃	
特長 .....	8
各部の名称 .....	8
電源について .....	9
• ご家庭のAC100V電源で使うとき	
• 乾電池で使うとき	
操作を始める前に .....	10
• ファンクション切換スイッチについて	
• バンド切換スイッチについて	
• 音量調節つまみについて	
• ヘッドホンジャックについて	
• カセットテープの入れかた	
• アンテナについて	
ラジオ・テレビ放送を聴く .....	11
テープを聴く .....	12
• 停止/取出しボタンについて	
• 一時停止ボタンについて	
• 早送り/巻戻しボタンについて	
• フルオートストップ機構について	
録音する .....	13
• ラジオ・テレビ放送を録音する	
• 録音するときのご注意	
• 著作権についてのご注意	
• 内蔵マイクから録音する	
カセットテープについて .....	15
• 取り扱い上の注意	
故障かな? と考える前に .....	15
仕様 .....	16
著作権について .....	17
保証とアフターサービス .....	18
(必ずお読みください。)	
ご相談窓口一覧表 .....	19




お客様メモ：サービスを依頼される時、お役にたちます。

購入店名：電話 \_\_\_\_\_

ご購入年月日：平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

—メモ—

 株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12  
TEL (03) 3502-2111

# 安全上のご注意 (必ずお読みください)

絵表示について この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は必ず実行していただかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

## 警告

### ■万一異常が発生したら

●万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く



●万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

●万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

### ■表示以外の電圧で使用しないでください

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。



# 安全上のご注意 (必ずお読みください)

## 警告

### ■液体の入った容器などを置かないでください

●本機の上にコップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



### ■風呂場などでは使用しないでください

●風呂場やシャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

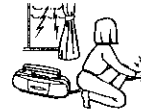
●本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。また、屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。



水ぬれ禁止

### ■雷が鳴り出したら

●雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

●屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、すぐにアンテナをたたくて使用を中止し、機器から離れてください。落雷の原因となります。



### ■電源コードを大切に

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### ■異物を入れないでください

●本機の通風孔、カセットテープの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

## 安全上のご注意 (必ずお読みください) (つづき)

### 警告

#### ■ふたをはずしたり、改造しないでください

●本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

#### ■交通事故に注意してください

●自動車・オートバイなどの運転中、または自転車で乗りながら絶対にヘッドホン、イヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。



●歩行中に本機などを聴く場合(特に踏切や交差点など)は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。



#### ■電池について

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



### 注意

#### ■ご使用になる場所について

●くらついた台の上や傾いたするなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



●本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



●本機の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの背面や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。



## 安全上のご注意 (必ずお読みください)

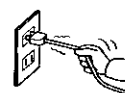
### 注意

#### ■電源コードを粗雑に扱わないでください

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



●電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気店にコンセントの交換を依頼してください。



#### ■持ち運ぶときのご注意

●移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

●持ち運びをするときはアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びをすると、アンテナが引っかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。



#### ■電池の使用は

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。



●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



●長期間使用しないとき、常時AC電源でご使用になるときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



## 安全上のご注意 (必ずお読みください) (つづき)

### ⚠️ 注意

#### ■長期間ご使用にならないとき

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜け

#### ■特に小さなお子様のいるご家庭では

●本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



●お子様がカセットテープ挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



指を挟まれないよう注意

#### ■音量について

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



●長時間音が空んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



●電源を入れる前は音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



#### ■日頃のお手入れについて

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜け

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などに相談ください。機器の内部にはほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などに相談ください。

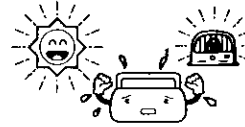


## 一般的なご注意

### 使用上のご注意

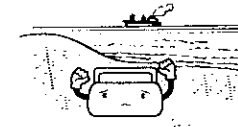
#### 高温は故障の原因

直射日光のあたる場所やストーブのような熱器具の近く、および炎天下に駐車した自動車内で使用すると、ケースや部品に悪い影響を与えます。



#### 砂は禁物

海辺や砂地では使用しないでください。砂などが内部にはいると故障の原因になります。



温度差のある所への移動は禁物  
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



### お手入れについて

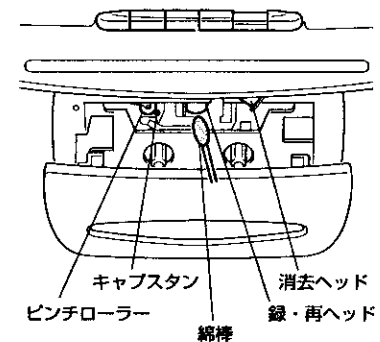
ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



### ヘッドの清掃

カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がしだいに汚れます。汚れたままで使うと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用したら、次の手順でヘッドの清掃を行なってください。

- ① 停止/取出しボタンを押してカセットふたを開けます。
- ② 再生ボタンを押します。
- ③ 綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。
- ④ 停止/取出しボタンを押します。



#### ●ヘッドの消磁について

長時間使用して、高い音が出なくなったり、雑音が出たときは、市販のヘッド消磁器でヘッドの消磁を行なってください。

# 特長

## ■フルオートストップ機構

録音・再生・早送り・巻戻し中テープが終わると、自動的に停止状態になります。

## ■ワンタッチ録音

録音ボタンを押すだけで録音を始めることができます。

## ■長い電池寿命

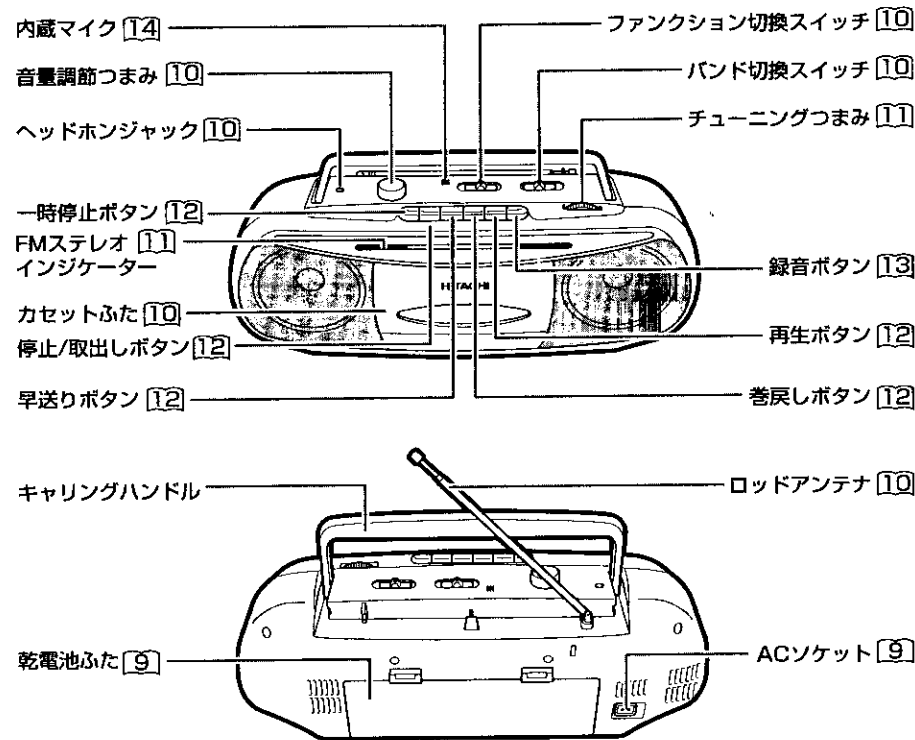
テープ再生で72時間、FM録音で85時間お楽しみいただけます。(アルカリ乾電池使用時)

## ■コンデンサーマイクロホン内蔵

おけいこ事や英会話の学習などに便利です。

# 各部の名称

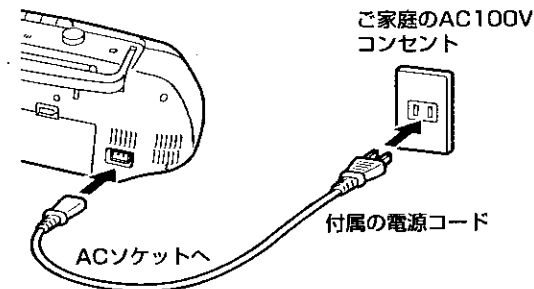
内の数字は参照ページを示します。



# 電源について

ご家庭のAC100V電源、乾電池で使える2電源方式です。

## ■ご家庭のAC100V電源で使うとき

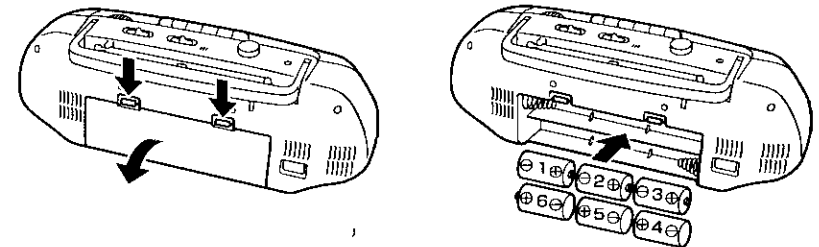


### ⚠注意

- 表示以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 万一機器に異常が起こったことを想定し、電源プラグはすぐ抜けるところに接続してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、乾電池を取り出しておいてください。
- 他の電源コードを使用しないでください。故障の原因となることがあります。

## ■乾電池で使うとき

- 1 電池ふたの「つめ」を下に押しなが
- 2 単1乾電池 (別売り) 6本を番号順に図のように入れます。



- 電源コードが接続されていると、乾電池では動作しません。(電源コードを抜いてください。)

## 乾電池の交換について

乾電池が消耗するとラジオ・テレビ放送受信中に雑音が多くなったり、テープ再生時に音がひすんだりします。このようなときは乾電池を6本とも新しい乾電池に交換してください。

乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

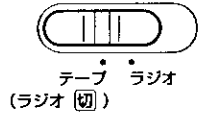
- ① 乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きを間違えないよう、正しく入れてください。
- ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ③ 種類の異なる乾電池 (例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池) を混ぜて使用しないでください。
- ④ 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本機から取り出しておいてください。
- ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

# 操作を始める前に

## ■ファンクション切換スイッチについて

**テープ**：テープの再生や内蔵マイクから(ラジオ切) 録音するとき、また本機を使用しないときもこの位置にします。

**ラジオ**：AM、FM放送あるいはTV(1~3ch)放送を聴いたり、録音するときこの位置にします。



## ■バンド切換スイッチについて

**AM**：AM放送を聴くことができます。

**FM/TV(1~3CH)**：FM放送またはTV(1~3ch)放送を聴くことができます。



## ■音量調節つまみについて

右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。

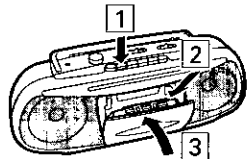


## ■ヘッドホンジャックについて

**注意** ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

夜間などにヘッドホンで音楽を楽しめるときは、市販のミニプラグタイプのヘッドホンに差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節つまみで調節します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。

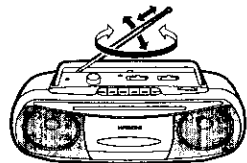
## ■カセットテープの入れかた



- 1 停止/取出しボタンを押します。
- 2 テープの見える方を上にして再生や録音したい面を手前にして図のように入れます。
- 3 カセットふたを閉じます。

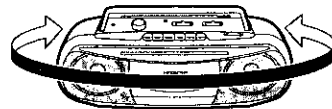
**■アンテナについて...** ラジオを聴くにはアンテナが重要な働きをします。お聴きになる放送に合わせて下図のように調節してください。

**FM放送、テレビ放送を聴くとき**



ロッドアンテナを伸ばし、雑音が少なく放送が最もよく聴こえるように角度、方向、長さを調節します。

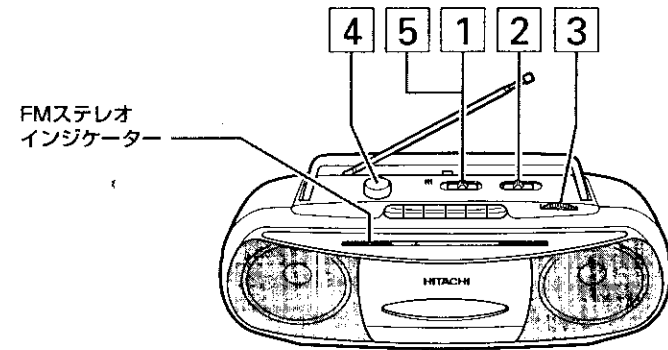
**AM放送を聴くとき**



本機をゆっくり回して雑音が少なく放送が最もよく聴こえる方向を選びます。(内蔵のフェライトアンテナが働きます。)

# ラジオ・テレビ放送を聴く

本機で受信できるテレビ放送は1~3チャンネルです。TV(1~3ch)およびAM放送は常にモノラル受信となります。



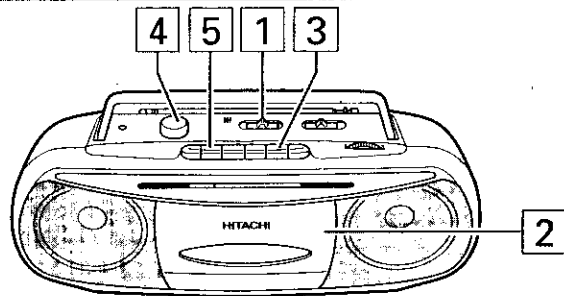
番号は操作手順を示します。

<p><b>1</b> ファンクション切換スイッチを「ラジオ」にする。</p>	<p><b>2</b> バンド切換スイッチで「AM」または「FM/TV(1~3CH)」を選ぶ。</p>	<p><b>3</b> 放送局を選ぶ。</p> <p>FMステレオ放送を受信すると、FMステレオインジケータが点灯します。</p>
<p><b>4</b> 音量を調節する。</p>		<p><b>5</b> 聴き終わったら電源を切る。</p>

- TV放送やFM放送をお聴きになるとき、他の放送と混信する場合にはロッドアンテナを縮めてください。
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- テレビの近くでAM放送を受信するとAM放送に雑音が入ることがあります。またテレビ放送を受信していると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

# テープを聴く

本機で再生できるテープはノーマルテープ(TYPE I)のみです。



番号は操作  
手順を示します。

<p><b>1</b> ファンクション切換スイッチを「テープ(ラジオ切)」にする。</p> <p>ファンクション テープ ラジオ (ラジオ切)</p>	<p><b>2</b> テープを入れる。</p> <p>10 ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがってカセットテープを入れます。</p>
<p><b>3</b> 再生を始める。</p> <p>再生</p> <p>再生ボタンを押します。</p>	<p><b>4</b> 音量を調整する。</p> <p>音量</p> <p>小 大</p> <p><b>5</b> 聴き終わったら</p> <p>停止/取出し</p> <p>停止/取出しボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源も同時に切れます。</li> <li>●テープを取り出します。</li> </ul>

**■停止/取出しボタンについて**

停止/取出し

- テープ走行中にこのボタンを押すとテープが停止します。
- 停止状態でこのボタンを押すとカセットふたが開いてカセットテープの出し入れができます。

**■一時停止ボタンについて**

一時停止

- 再生や録音を一時止めるときにこのボタンを押します。
- もう一度押すと再び再生や録音が始まります。

**■早送り・巻戻しボタンについて**

早送り

- このボタンを押すとテープが早送りされます。

巻戻し

- このボタンを押すとテープが巻戻しされます。

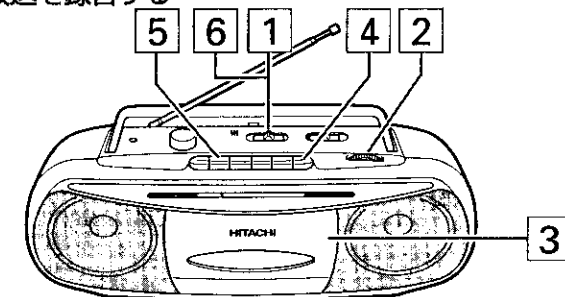
**■フルオートストップ機構について**

本機はフルオートストップ機構を採用していますので、テープを再生、録音、早送り、巻戻ししているとき、テープが最後までくると自動的に停止し、押されているボタンも元に戻ります。

# 録音する

本機で録音できるテープはノーマルテープ(TYPE I)のみです。

## ■ラジオ・テレビ放送を録音する



番号は操作  
手順を示します。

<p><b>1</b> ファンクション切換スイッチを「ラジオ」にする。</p> <p>ファンクション テープ ラジオ (ラジオ切)</p>	<p><b>2</b> 放送の受信。</p> <p>11 ページ</p> <p>「ラジオ・テレビ放送を聴く」にしたがって録音したい放送を受信します。</p>
<p><b>3</b> テープを入れる。</p> <p>10 ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するテープを入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「つめ」が折れているテープは録音できません。(15ページ参照)</li> </ul>	<p><b>4</b> 録音を始める。</p> <p>録音</p> <p>録音ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●再生ボタンも同時に押し込まれ録音が始まります。</li> <li>●録音レベルは自動的に調節されます。</li> </ul>
<p><b>5</b> 録音が終わったら</p> <p>停止/取出し</p> <p>停止/取出しボタンを押します。</p>	<p><b>6</b> 電源を切る。</p> <p>ファンクション テープ ラジオ (ラジオ切)</p> <p>ファンクション切換スイッチを「テープ(ラジオ切)」にします。</p>

**■録音するときのご注意**

- 大切な録音の場合は、必ず事前に試しに録音して正常に録音されていることを確認してください。
- ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機は、ハイポジションテープ・メタルテープでの録音はできません。(音質が悪くなったり、録音済の音が消えない現象が起きます。)

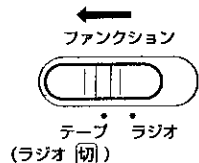
**■著作権についてのご注意**

あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。(17ページ参照)

## 録音する (つづき)

### ■内蔵マイクから録音する

**1** ファンクション切換スイッチを「テープ (ラジオ切)」にする。

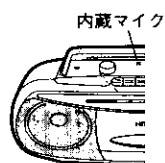


**2** テープを入れる。

10 ページ

「カセットテープの入れかた」にしたがってカセットテープを入れます。

**3** 内蔵マイクに向かって音を入れ、録音を始める。



録音ボタンを押します。

- 再生ボタンも同時に押し込まれ録音が始まります。
- 録音レベルは自動的に調節されます。

**4** 録音が終わったら

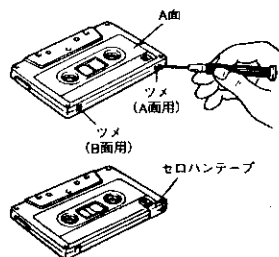


停止/取出し

停止/取出しボタンを押します。

- 電源も同時に切れます。
- テープを取り出します。

## カセットテープについて



●録音すると、前に録音した内容は消えてしまいます。大切な録音内容を誤って消さないようにするには「つめ」の部分折り取ると録音できなくなり、誤って消すことはありません。

●「つめ」を折ったテープに録音するには「つめ」を折り取った穴にセロハンテープを貼ると録音ができるようになります。

### ■取り扱い上の注意

#### ●保管するとき

プラスチックケースに入れ、直射日光、高温多湿、磁気およびほこりの多い場所をさけてください。

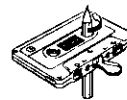
#### ●100分以上の長時間テープは

このテープは薄いため、テープがかたく巻きしまったり、テープの巻込み、からみなどの原因となりやすいため、使用しないでください。

●本機でエンドレステープは使用できません。

#### ●テープがたるんだときは

鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



#### ●テープがかたく巻きしまったときは

テーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたか、一度巻き直してからご使用ください。



## 故障かな? と考える前に

下記のことをお調べの上、それでも具合の悪い場合は、ご自分で修理なさらず、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては18ページをご覧ください。

症状	原因	処置
●音質が悪かったり、ひずんだりする。 ●音量を上げて音が出ない。	●ヘッドが汚れている。 ●乾電池が消耗している。(乾電池で使用しているとき)	●ヘッドを清掃してください。 ●新しい乾電池に交換してください。
●録音できない。	●カセットテープの「誤消去防止つめ」が折れている。	●「つめ」を確認します。「つめ」が折れていたら、その穴をセロハンテープでふさいでください。
●カセットテープが入らない。	●カセットテープの向き(上/下)が逆になっている。	●テープの見える側を上に入れてください。
●ボタンを押してもテープが動かない。	●一時停止ボタンが押し込まれている。 ●テープが巻き終わっている。 ●乾電池の向きが間違っている。(乾電池で使用しているとき)	●もう一度押して、一時停止を解除してください。 ●テープを巻戻すか、裏返しにします。 ●乾電池の向きを正しく入れます。



# 仕様

<b>■ラジオ部</b>	
受信周波数	FM/TV: 76~108MHz(TV1~3CH) AM: 530~1.605kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: 内蔵フェライトアンテナ
<b>■テープレコーダー部</b>	
トラック方式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	DCバイアス
消去方式	マグネット消去
テープ	ノーマルテープ (TYPE I)
周波数範囲	80~12,000Hz
<b>■共通部</b>	
スピーカー	9cm 丸形8Ω×2個
実用最大出力	1.1W+1.1W(EIAJ/DC)
電池持続時間	約85時間 [LR6 (EX)] } EIAJラジオ入力信号録音時
	約55時間 [R6PU(SG)] }
	約72時間 [LR6 (EX)] } EIAJテープ再生時
	約45時間 [R6PU(SG)] }
消費電力	AC6W
電源	AC100V 50/60Hz共用 DC9V 別売単1乾電池6個使用
最大外形寸法	410 (幅) × 130 (高さ) × 120 (奥行) mm (EIAJ)
質量	約2.4kg (乾電池含む)
付属品	電源コード

仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

# 著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

たとえば、

- 放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードや録音物またはそれから録音したテープや、放送から録音したテープを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には著作権法上権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)」もしくははもよりの支部におたずねください。

本部 〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12  
TEL 03-3481-2121 FAX 03-3481-2150

## 支部一覧

- 北海道支部(北海道)  
〒060-0001 札幌市中央区北一条西3-2 大和銀行札幌ビル  
TEL(011)221-5088 FAX(011)221-1311
- 盛岡支部(岩手 青森 秋田)  
〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル  
TEL(019)652-3201 FAX(019)652-4010
- 仙台支部(宮城 山形 福島)  
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-6 住友銀行仙台ビル  
TEL(022)264-2266 FAX(022)265-2706
- 長野支部(長野)  
〒380-0323 長野市南千歳2-12-1 日本団体会館長野ビル  
TEL(026)225-7111 FAX(026)223-4767
- 大宮支部(埼玉 栃木 群馬 新潟)  
〒331-0852 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル  
TEL(048)643-5461 FAX(048)643-3567
- 上野支部(台東 文京 荒川 葛飾 足立 北区 茨城)  
〒110-0005 東京都台東区上野2-7-13 交通公社 安田火災上野ビル  
TEL(03)3832-1033 FAX(03)3832-1040
- 東京支部(千代田 中央 港 墨田 江東 品川 大田 江戸川区 葛飾 千代田)  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目  
TEL(03)3562-4455 FAX(03)3562-4457
- 西東京支部(新宿 目黒 世田谷 渋谷 中野 杉並 豊島 板橋 練馬区)  
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル  
TEL(03)3232-8301 FAX(03)3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部(東京都 千葉 茨城 山梨)  
※コンサートやイベントなどにおける演奏・上映等  
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル  
TEL(03)5286-1671 FAX(03)5286-1670
- 立川支部(東京都 都部 都く島しょ部を除く)・山梨)  
〒190-0012 立川市曙町2-22-20 立川センタービル  
TEL(042)529-1500 FAX(042)529-1515
- 横浜支部(神奈川県)  
〒231-0005 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル  
TEL(045)662-6551 FAX(045)662-6548
- 静岡支部(静岡)  
〒420-0857 静岡市御幸町1-1-30 エクセルワート静岡ビル  
TEL(054)254-2621 FAX(054)254-0285
- 中部支部(愛知 岐阜 三重)  
〒450-0002 名古屋市中区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館  
TEL(052)583-7590 FAX(052)583-7594
- 北陸支部(石川 富山 福井)  
〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファール  
TEL(076)221-3802 FAX(076)221-6109
- 京都支部(京都 滋賀 奈良)  
〒600-8008 京都市下京区西四条通丸太町長門ビル3F 京都三井ビル  
TEL(075)251-0134 FAX(075)251-0414
- 大阪支部(大阪 和歌山)  
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル  
TEL(06)6244-0351 FAX(06)6244-1970
- 神戸支部(兵庫)  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビル  
TEL(078)322-0561 FAX(078)322-0975
- 中国支部(広島 岡山 山口 鳥取 島根)  
〒730-0021 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル  
TEL(082)249-6362 FAX(082)246-4396
- 四国支部(香川 徳島 高知 愛媛)  
〒760-0023 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル  
TEL(087)821-9191 FAX(087)822-5083
- 九州支部(福岡 大分 佐賀 長崎 熊本)  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル  
TEL(092)441-2285 FAX(092)441-4218
- 鹿児島支部(鹿児島 宮崎)  
〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル  
TEL(099)224-6211 FAX(099)224-6106
- 那覇支部(沖縄)  
〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル  
TEL(098)863-1228 FAX(098)866-5074

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

### ■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは「故障かな?と考える前に」(15ページ)をお調べください。

それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 形名: TRK-S50
- ② 症状: できるだけ詳しく

### ■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合はアフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か19ページのご相談窓口にお問い合わせください。

### ■保証について

- この商品は保証書付きです。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上の日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

### ■補修用性能部品の保有期間について

テープレコーダーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■代替品、同等品による修理について

修理の際、部品在庫状況によっては代替品または同等品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。

## ご相談窓口一覧表

### 日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

#### 修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL ☎ 0120-3121-68  
FAX ☎ 0120-3121-87

#### 商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL ☎ 0120-3121-11  
FAX ☎ 0120-3121-34

\*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

#### 一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5(日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。